

大原中学校だより

【大原中学校の教育目標】
「目的意識をもって自ら学び、心豊かに逞しく未来を拓く生徒の育成」

令和5年10月24日
第28号
校長 柴田美由紀

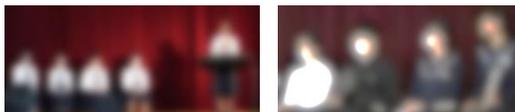


これからも、つながりを大切に、香り高い大原中文化を継承していこう!!

豊かな実りの秋、去る10月19日、本校の第77回文化発表会が開催されました。ステージの部も展示の部も、そのできばえは見事でした。オープニングセレモニーでは、全校生徒で取り組んだドット・アートによるスローガンの完成披露と共に、各クラスや文化部の当日までの頑張りがわかる生徒会執行部による発想力豊かなスライドショーの演出で、本年度の文化発表会の幕が開きました。

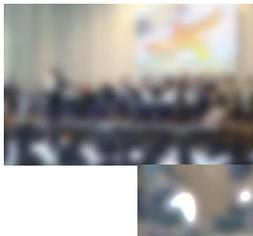
**創作コンクール入賞者発表
～ 独創的なメロディーライン～**

さん、さん、さん、さん、さん、さんの発表では、題名（それぞれ『お出かけきぶん』『はずんだこころ』『たのしく踊ろう』『陽気い』『(無題)』『ようせいの戯れ』『春のこみち』『夏休み』『宝を求めて』）通りの情景が、自然と思ひ浮かぶようなとっても素敵な曲で、表にふさわしい独創性のあるメロディーラインを披露してくれました。



吹奏楽部 … ～一音一心、日々進化、素晴らしい演奏～

吹奏楽部は、全部で5曲を披露してくれました。吹奏楽部演奏は、迫力と安定感のある美しい響きを持つ素晴らしい演奏でした。軽快なリズムに合わせて、会場がひとつになり、とても心地よい雰囲気をつくってくれました。日頃の練習の成果でしょう、夏の地区吹奏楽コンクールから一段と磨きがかかり、完成度が上がっていました。



校内主張大会 … ～仲間の思いを知り、受け止め、思いに応えられる自分をつくる～

校内主張大会では、3人も堂々と自分の思いを表現してくれました。さんは、ある出来事を通した学びから、「人の気持ちを考えることの大切さ、言葉は刃物にもなり得ることを痛感した。だからこそ、自分が発言する言葉に責任をもって生活していきたい。みなさんもそうであってほしい。そして、自分の心も自分で大切にしていほしい。」と真摯に訴えてくれました。さんは、大好きなお姉さんと家族との温かい日常の関わりについて話してくれ、「だれもが、それぞれの『個性』を認め合い、『いろんな人がいて当たり前』と思うことができる、そのように多様性を認め合える社会にしていきたい」と力強く訴えてくれました。さんは、自分のお気に入りの靴の色であるピンクという色について、「中学になるまでは、周りの『女の子の色』という決めつけの感覚から抜け出せなかったが、今では、鮮やかで、カッコイイ色と心底思っている。この経験を通して、人との関係も同じで、人の意見や決めつけに感わされることなく、相手を知ろうと行動することから始めていきたいと思います」と力



強く語ってくれました。

いずれも主張者の思い・考えがこじみでるような説得力のある素晴らしい主張でした。そして何より、自分の体験を通して至った強い思いを勇気を持って堂々と訴えてくれたことに大きな感動を覚えました。3名の主張者の皆さん、ありがとうございました。

作品展示 … ～多くの力作・苦心作、素晴らしい表現技法に感動～



展示の部は、美術部の『自然3部作』の巨大画制作をはじめとする数々の作品に、思わず息をのむクオリティーの高さを感じました。作品に込められた作者の想い・願い、製作の意図や努力が感じとられて、その人の人柄まで伝わって

くるものでした。また、各教科の展示物も日常の授業の成果や夏休みに製作した力作揃いで、苦心作がたくさんありました。普段の教室での授業とは、また違った面、友達の間で持っている素晴らしい創造力や技量、よさを知る絶好の機会ともなりました。

**合唱コンクール
「協和～がんばりを認め合い、自分を解放しよう」**

合唱コンクール結果			
	3年	2年	1年
金賞	3年3組「あなたへ」 (最優秀賞：合同文化発表会へ)	2年3組「時の旅人」	1年1組「COSMOS」

3年生は、さすが最上級生という迫力と重厚感のある大人のような合唱を聴かせてくれました。そして、詩の内容を素敵な声の響きに乗せて豊かに表現してくれました。2年生は、中堅学年らしい存在感のある情感あふれる美しい合唱を、1

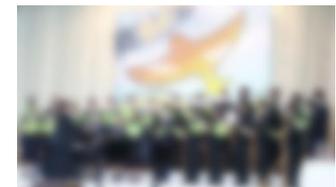
年生も、若々しくはつらつとした素直な歌声を聴かせてくれました。どのクラスも、「曲そのものの持つ力」を精一杯表現しようと心をひとつに頑張ってきたことが伝わってくる合唱でした。

金賞の学級はおめでとございます！ 順位はつきましたが、合唱をつくりあげてきたその過程、その道のりが大切なのだと思います。ぶつかりあい、励まし合いという関わりが今、どのクラスにおいても強い絆をつくっているはず。

今年の合唱コンクールも、どのクラスも魂がこもった、心が洗われるような演奏を披露してくれました。私は、皆さんのおかげで深い感動に包まれた至福の時を過ごすことができました。あの合唱コンクールの皆さんの歌声は、中学時代の友情と団結の証としても、生涯、皆さん一人一人の心の中に響きわたり続けると信じています。

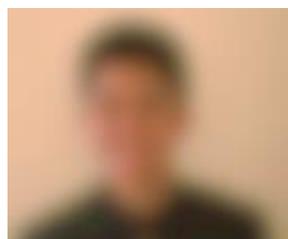
夏休みを返上して練習に取り組んできた合唱部のステージでも、混声四部の美しい歌声が響き渡りました。2曲共に、熱き思いが伝わる心に響く歌声でした。

今年も友達的主張や合唱、作品を目と耳と心でしっかり受け止め、発表者と聴衆とが一体となってつながり、感動を呼び起こしてくれました。まさに、今年のスローガン、「協和～がんばりを認め合い、自分を解放しよう～」を体現できたのではないのでしょうか。これからも、より質の高い「大原中文化」を受け継ぎ、発展させていきましょう。



心と目と耳を澄ませて… 香り高い大原中文化の創造と継承

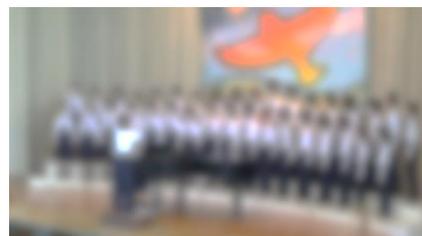
「今、文化発表会を終えて思う」文化発表会実行委員長より



文化専門委員長 ()
 今回の文化発表会も成功させることができてもよかったです。私は、今回の文化発表会を通して、合唱への取り組みやポスターの取組、主張の取り組みなど、様々な場面みなさんの「がんばり」を感じることができました。このような「がんばり」があったからこそ、文化発表会も成功させることができました。この文化発表会での「がんばり」をこまごまの学校生活へ活かしていきたいと思います。また、この文化発表会を通して、大原中文化を作りあげていく過程の中で、大原中文化は、これまで、こまごま築き続けていかなければいけません。これからも、欠の世代が大原中文化を受け継いで、より大きなものへと成長させてくれることを願っています。

文化専門委員長 ()
 私は今までずっと文化発表会が始まるのを楽しみにしていました。ところが同時に文化発表会が本当に始まるのか不安もありました。そんな不安を消すように大原中のみなさん、文化発表会を成功させるためにがんばってくれました。だから私も今文化発表会の準備をがんばることができました。また今回の文化発表会を成功させることができたいと思います。そして今回の合唱コンクールでは1年組、2年組、3年組が全賞に選ばれました。今回の全賞という形で合唱の優秀というものがついてしまいましたが、どのクラスの合唱も、とても素晴らしいです。1年生と2年生は別れ合唱に向けて、3年生は卒業式に向けて全員自信をもってこれからの合唱練習をがんばっていきましょう。

文化専門委員長 ()
 私は、今年の文化発表会は大成功だったと思います。文化発表会のスローガンが決まったのは8月のリサーチ研修会の時なので、準備に約2ヶ月かかりました。その間、やることに追われて気持ちに余裕がなくなったり、考えが行き詰まったりすることも多くありましたが、そのたびに私を救ってくれたのは、「仲間」でした。困っていることがあれば仲間相談して、そして仲間が頑張っているから私も頑張ろうと思うことができました。また、他の人に適度に任せたり、人を頼ったりすることも必要だと学びました。主張も緊張など全く感じさせず、それを聴く人も目と耳と心で真剣に受け止めていて、とてもいい雰囲気でした。合唱はやる気とそれまでのドラマが詰まった素晴らしいものでした。皆さんの「がんばり」ほどのクラスも全賞です。展示も皆が真剣に鑑賞していてとても良かったと思います。文化発表会に協力してくれた皆さん、本当にありがとうございました！！



1年1組「COSMOS」



1年2組「大切なもの」



1年3組「旅立ちの時」



2年1組「fight」



2年2組「明日へ」



2年3組「時の旅人」



3年1組「証」



3年2組「友～旅立ちの時～」



3年3組「あなたへ」

